

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 おんせん県あったかエコ住宅

グループの名称 おんせん県あったかエコ住宅の会

直近採択グループ番号 06-0652-0771

(グループ代表者)

代表者名 大久保 好隆 代表者印  
代表者所属先 大分ステム株式会社  
代表者所在地 大分県大分市豊海3丁目1994番地の245号  
代表者電話番号 097-536-2078

(グループ事務局)

事務局事業者名 大分ステム株式会社  
事務局担当者名 渡邊 将成 印  
事務局郵便番号 870-0018  
事務局所在地 大分県大分市豊海3丁目1994番地の245号  
事務局電話番号 097-536-2078  
事務局FAX 097-533-6800  
事務局担当者E-mail onsenken\_attaka@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	おんせん県あったかエコ住宅
2. グループの名称(必須)	おんせん県あったかエコ住宅の会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0652-0771
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	大分県、熊本県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	大久保 好隆
7. グループ代表者の所属先(必須)	大分システム株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	大分県大分市豊海3丁目1994番地の245号
9. グループ代表者電話番号(必須)	097-536-2078
10. グループ事務局事業者名(必須)	大分システム株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	渡邊 将成
12. グループ事務局郵便番号(必須)	870-0018
13. グループ事務局所在地(必須)	大分県大分市豊海3丁目1994番地の245号
14. グループ事務局電話番号(必須)	097-536-2078
15. グループ事務局FAX番号(必須)	097-533-6800
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	onsenken_attaka@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	12	産地が海外の場合、原木供給は構成員に含まない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	14	海外で製材されている場合、製材事業者は構成員に含まない。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	供給ルートによっては建材流通を含まない場合がある。
IV. プレカット	4	手刻み加工の場合、プレカット事業者は含まない。
V. 設計	2	施工事業者が設計を兼ねる場合、構成員として登録はしていない。
VI. 施工	8	/
VII. 木材を扱わない流通	4	
VIII. I～VII以外の業種	6	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材	3	国内	
		外材	3	国外	
		国産材	2	国内	
		外材	2	国外	
		国産材	2	国内	
		国産材	2	国内	
		外材	2	国外	
		国産材	2	国内	
		国産材	4	国内	
		外材	4	国外	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		13 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	13 戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0 戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2 戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0 戸	
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3 戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0 戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1 戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0 戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6 戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6 戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0 戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1 戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1 戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0 戸
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1 戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0 戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0 戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0 戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0 戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		14 戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	14 戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0 戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2 戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2 戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0 戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟		
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験工務店、申請確実工務店を優先しつつ1社1戸以上の供給を目指す。						
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	3 戸	交付申請戸数	2 戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	1 戸	交付申請戸数	1 戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1 戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	採択戸数	0 戸	交付申請戸数	0 戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0 戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)							
採択戸数	4 戸	交付申請戸数	4 戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4 戸		
優良建築物型							
採択棟数	0 棟	交付申請戸数	0 棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0 戸		
採択床面積	0 m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0 m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0 m <sup>2</sup>		





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おんせん県あったかエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 大分県、熊本県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) おんせん県あったかエコ住宅の会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0652-0771	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当グループは設備に依存しすぎず高性能住宅ではなく、『おんせん県大分』の自然エネルギーを最大限に活かした、健康で快適な住いが高い品質で量産、提供していく事を目指している。エネルギー自体を取り込み、そして逃がさない工夫が大分の住宅には必要だと考えます。よってそれを実現するために、以下の2点を軸とした地域型住宅を提供していく。 1.高い断熱性能（断熱等性能等級4） 2.大分の自然エネルギーを活かしたパッシブデザイン	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	設計にあたって上記2を実現するために、以下の取組を実施する。 1.建設地の卓越風や風配図を利用した通風シミュレーションを行い、室内空気の淀みが発生しない窓の配置計画を立てる。 2.日の出の入りシミュレーションを実施し、大分の季節と太陽の位置関係に適した、断熱・遮熱の違いを明確にしたサッシ・硝子を選定する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	上記②の取組(1.2.)を活かし、大分の気候(風、日射)を最大限活かした設計を行い、環境負荷の少ないエコで快適な住宅を提供していく。	◎
④①～③の背景	当グループの活動地域である大分県は、ヒートショックが原因での死亡率が高い(脳血管疾患においては都道府県において6位)しかしながら、エンドユーザーの認知度は高いとは言えない。当グループは住宅の断熱性能を高め、部屋間の温度差を少なくする設計をした住宅を提供する事で、エンドユーザーに断熱性能の向上が健康に配慮した家づくりとなる事を理解してもらった取組を行っている。また、世界一の温泉湧出量を誇る『おんせん県』のグループとして、環境負荷の少ない住宅を提供していく。昨年同様、上記背景に則って活動を行っている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	一方で、平成28年熊本地震では、大分県も少なくない被害を受けている。お客様に安心できる住宅を提供する為、以下のように耐震性に資する取組を推奨していく。 1.地盤の液化化診断 2.長期間の地盤保証 3.耐震化に関する新たな技術の導入(木質系住宅用制振装置) 等	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 昨年同様、窓に関して樹脂複合サッシ、もしくは熱貫流率2.33以下を標準とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お客様の健康の観点から、使用建材はF☆☆☆☆以上に統一している。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記①-1、①-2を標準仕様としている。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: メーカーや木材以外の建材流通店がグループに参加、サポートする事で、在庫状況の把握等も含めた調達事務に関して、無駄の少ない体制が作られている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 委員会は設置していないが、毎月の定例会において情報交換の場を設けている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業の申請における各種手続きの内容・注意点を把握し、メンバーに発信すると共に、申請における書式の作成のサポート等を行う。申請に係る事務作業の負担を減らす事で、生産に専念できる体制を作る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: Ua値0.6以下をグループの目標数値として設定している。達成できなかった場合も、原因と対策を確認・検討する事で、メンバーの技術力の向上、ひいては信頼性の向上に繋がる取組をしている。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の提供に当たり、以下のルールを設定・徹底している。 1.地盤調査を実施すること。2.瑕疵保証検査を実施すること。 3.主要構造部材の過半で含水率(20%以下)の自主検査を実施すること。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループには住宅業界に特化したファイナンシャルプランニングの会社が参加している。同会社の指導の下、お客様にとって適切なプランニング・プレゼンを行い、お客様が納得・安心できる家造りを行っている(住宅購入資金計画「ライフプラン」)	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループのHP( <a href="http://onsenkenattaka.wix.com/architect-co-jp">http://onsenkenattaka.wix.com/architect-co-jp</a> )を立ち上げると共に、中心となっているメンバーは、全社Facebookを実施している。グループHP及び各社のFacebookにてグループの活動等の情報を発信する事で、お客様の信頼性に繋がる活動をしている。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点でグループ構成員全社が実現できているとはいえない。今年度においては実現している事業者の取組を参考に、実現のための改善案の模索を行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 正社員以外の社員、請負技能者等については現状を把握できていない為、今後の改善に向けて現状把握に努める。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各事業者が独自に取り組んでいるが、グループとしての取組は行っていない。構成員より意見を集め、グループとしての労働者の安全・衛生の確保の為の取組を模索する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おんせん県あったかエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 大分県、熊本県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) おんせん県あったかエコ住宅の会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0652-0771		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業の申請に係る物件については、住宅の種類(長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅)に関わらず、新築時の主要な建築図書(行政庁提出書類、打ち合わせ記録、施工図面等)の保管・管理を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時に使用する、グループ共通のアフターチェックシートを作成し、使用していく。点検に関する記録は、住宅履歴に蓄積していく。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修に関する記録は、住宅履歴に蓄積していく。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関に登録している住宅履歴に蓄積する事で、点検の記録を管理する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長く快適に使用してもらう為、お客様向けの『住まいかた』や『お手入れ方法』の体験会を実施している。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅を維持管理する為の費用を無理なく貯める方法でもある「ライフプランナ」を、グループとして実施している。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 前述のグループ共通のアフターチェックシートの管理などを行う、維持管理委員会を設置している。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅、低炭素住宅、性能向上住宅、ゼロエネルギー住宅に係らず、点検口の設置など、維持管理対策に資する取組を必須とする。	◎	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の業者に倒産廃業が出た場合は、グループ内の検討会において施工業者の選定をし、お客様に紹介する仕組みを持っている。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成28年熊本地震や29年7月の大雨による被害傾向を元に、災害に強い家造りを実施していく		◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会(毎月1回)において、住宅性能向上を目的とした勉強会を実施している。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 前頁4-イ-a-①やイ-b-①~②が対応している。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: サッシ・建材の発注書や検査記録書等を、事務局の求めに応じて提出できる形で保管する。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年度のグループの供給戸数を元に、本年度の需給計画を立てる。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループメンバー全員が、2020年の義務化前に、省エネ基準適合住宅を提供できるよう、知識や技術力を向上していく。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ③-2の実現に向けて、施工以外のグループメンバーも、施工メンバーをサポートする体制を構築している。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 23 今年度の参加目標人数 2	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の開催日程が決まり次第、受講漏れが発生しないように、事務局よりグループメンバーへ開催日を連絡する体制を構築している。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会において不定期ではあるが、グループメンバーによる新技術や新建材の紹介の機会を設けている。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎	
当グループはグループ発足以来、継続的に定例会・勉強会を重ねている。グリーン化事業の申請に係る議題だけではなく、グループメンバーの知識や技術力の向上、お客様への適切な提案方法等に関する勉強会を開催しており、今後も継続して行っていく。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おんせん県あつたかエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 大分県、熊本県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) おんせん県あつたかエコ住宅の会	(結成年) 2015年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0652-0771													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	地域材に選定する樹種等について、大分県のグループとして大分県産材の使用を推奨しているが、お客様の負担軽減の観点から海外産を含めた合法木材も地域材として設定する。 使用に関する共通ルールとしては、主要構造材の材積において4㎡以上を必達基準として設ける。申請事務の合理化の観点から、使用割合でのルールは設けない。同様に羽柄材等の所謂二次部材においても地域材は使用はしているが、共通ルールとして設定はせず、下記の②、③記載の使用割合、使用箇所はあくまで参考とする。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 29年7月の大雨で被害を受けた木材事業者も多い。大分県産材の使用が復興等に繋がるのであれば積極的に推進していきたいが、一方で木材の在庫が足りなくなる可能性もある。構成員と密に連絡を取って、状況把握に努めていく。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材情報を含めた補助事業に関しての相談窓口を設置し、不透明な部分を無くすことで、地域型住宅のスムーズな提供を目指す。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用に関する共通ルールから、1戸当たり最低4㎡は使用する。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: お施主様が和室を希望するかどうかによって左右される為、使用量の予測は不可能。共通ルールとしては設定しない。												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループとして太陽光設備の活用(ゼロエネ)を推奨しており、重量負荷の影響や耐震性を考慮すると、和瓦の活用について共通ルール化するのは難しい。												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: お施主様が和室を希望するかどうかによって左右される為、使用量の予測は不可能。共通ルールとしては設定しない。												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: お施主様が和室を希望するかどうかによって左右される為、使用量の予測は不可能。共通ルールとしては設定しない。												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お客様の意向に沿わない場合がある為、必須の取組は設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案する事を推奨している。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お客様の意向に沿わない場合がある為、必須の取組は設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案する事を推奨している。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お客様の意向に沿わない場合がある為、必須の取組は設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案する事を推奨している。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 『おんせん県大分』の自然エネルギーを最大限に生かした住宅の提供を心がけている。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 供給地域の景観計画に沿うような住宅の提供を心がけている。												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お客様の意向に沿わない場合がある為、必須の取組は設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案する事を推奨している。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	29年7月の大雨で被害を受けた木材事業者も多い。大分県産材の使用が復興等に繋がるのであれば積極的に推進していく。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】														
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	当グループの活動エリアである大分県も、28年熊本地震(及び29年7月の大雨)にて被害を受けている。積極的に活動し、良質な地域型住宅を1件でも多くお客様に提供する事が、復興に繋がる物と考える。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> おんせん県あったかエコ住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 大分県、熊本県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> おんせん県あったかエコ住宅の会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0652-0771	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
当グループは高度省エネ型の住宅の提供を主眼に置いている。 当申請書記載の共通ルールや目標、取組等は長寿命型だけでなく高度省エネ型住宅の性能、特徴を表した物になる。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。